



いちき串木野市立 市来中学校

生徒数 150人
学級数 8クラス



テーマ

生徒自らが自他の人権について考え、人権を守るために主体的に実践行動する力を育む。

研究に当たって(テーマ設定の理由)	研究スケジュール
<p>本校では、「確かな学力」の定着、「心の教育」の充実、「健やかな体」の育成に向け、これまで2年間、人権教育を土台とした教育に取り組んでいる。</p> <p>生徒が豊かな心を持ち、健やかでたくましく、「自己肯定感」が高まるための手立てについて、更に研究を深めたいと考え、本テーマを設定した。</p>	<p>5月11日(月) 職員研修①</p> <p>5月26日(火) 地区人権教育授業実践研修会 (研究授業提供：社会科)</p> <p>9月29日(火) 職員研修②(外部講師)</p> <p>11月17日(火) 人権教室(外部講師)</p> <p>12月17日(木) 人権学習(生徒会主催)</p> <p>12月25日(金) 県いじめ防止子どもサミット参加</p> <p>1月8日(金) 職員研修③(外部講師)</p>

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 生徒会主催による人権学習の実施

新型コロナウイルスによる差別や偏見に関するニュースを基に、各学級で「差別や偏見をどのようにしたら防げるか」という視点で話し合い、学習を深めた。企画・運営は生徒会が中心となり、学級での進行も学級総務が務め、主体的に学習に取り組むことができた。また、学習活動の中で解決に向けたスローガンを学級ごとに決定した。スローガンは学級に掲示し、人権意識の更なる向上に努めている。



【生徒会主催による人権学習】

□ 外部講師を招いての人権教室の開催

県教育庁人権同和教育課、吉満ふくみ指導主事を講師として招き、人権教室を開催した。思い込みや誤った知識が差別や偏見につながることや、同じ言葉でも否定的な意味合いになる言葉と否定的ではない意味合いになる言葉があることなどを、ワークシートを活用しながら学習した。生徒全員で、人権に関して学習を深める貴重な時間となった。



【人権教室】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 人権教室におけるグループ活動や、人権標語・スローガンを掲示することなどにより、他者の多様な意見に触れさせることで、他者を価値ある存在として尊重する態度が育ちつつある。
- 生徒一人一人の自己肯定感・自尊感情が更に高まっていくよう今後も継続して全ての教育活動を通して実践的「意識・意欲・態度」を育成していきたい。